

遠野

市議会だより | NO.7
2007.4.19



すこやか・さんぽ

宮守保育所・幼稚園

4月7日宮守保育所・幼稚園の入園式が行われ、新入園児15名迎え、計57名で新年度がスタートしました。

その中の元気いっぱいな年中、年長組は“友達と一緒にいろいろな遊びをしよう!”と、喜びと期待に胸を弾ませ、目を輝かせています。

[木下敏子 所(園)長]

主な内容

3月定例会

- 19年度当初予算案可決
- 遠野テレビ宮守エリアサービス開始
- 一般質問で8名が市政を問う

19年度一般会計予算159億9,600万円



▲定例会では市長の施政方針演説が行われた。

3月定例会

平成19年第1回定例会を2月23日から3月8日までの14日間開催しました。

今定例会では、市長の施政方針演説及び教育委員長の教育行政方針演説があり、一般質問には8人の議員が登場して、新年度の施策全般にわたり質問がありました。

提案された条例20件、一般会計予算（159億9,600万円）他予算17件、その他10件全48議案を原案のとおり可決しました。

また、最終日には請願1件と議員発議による意見書2件を可決し、岩手県後期高齢者医療広域連合議員の選挙を行いました。

議 案

- 平成18年度遠野市宮守町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成18年度遠野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成18年度遠野市下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成18年度遠野市水道事業会計補正予算（第2号）
- 遠野市副市長定数条例の制定について
- 地方自治法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 遠野市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市民センター条例等の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市福祉基金条例を廃止する条例の制定について
- 遠野市特産品開発推進基金条例を廃止する条例の制定について
- 遠野市畜産総合対策基金条例を廃止する条例の制定について
- 遠野ふるさと保全基金条例を廃止する条例の制定について
- 遠野遺産認定条例の制定について
- 遠野市国民健康保険診療施設使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市交通安全対策会議条例を廃止する条例の制定について
- 遠野市事業所設置奨励条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市景観計画による届出行為等に関する条例の制定について
- 遠野市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について
- 宮守エリアケーブルテレビ拡張工事の変更請負契約の締結について
- 二日町小友線道路改良工事の変更請負契約の締結について
- 永遠の日本のふるさと遠野基金条例の制定について
- 平成18年度遠野市一般会計補正予算（第3号）
- 平成18年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 平成18年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 平成18年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成18年度遠野市浄化槽事業特別会計補正予算（第3号）

(議案のつづき)

- 岩手中部広域行政組合規約の一部変更の協議について
- 辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の認定について
- 平成 19 年度遠野市一般会計予算
- 平成 19 年度遠野市国民健康保険特別会計予算
- 平成 19 年度遠野市老人保健特別会計予算
- 平成 19 年度遠野市介護保険特別会計予算
- 平成 19 年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計予算
- 平成 19 年度遠野市浄化槽事業特別会計予算
- 平成 19 年度遠野市農業集落排水事業特別会計予算
- 平成 19 年度遠野市下水道事業特別会計予算
- 平成 19 年度遠野市水道事業会計予算
- 遠野市遠野健康福祉の里条例等の一部を改正する条例の制定について

討 論

(反対) 平成 18 年度遠野市一般会計補正予算(第 3 号) 織笠孝之議員 補正予算に再度計上された馬の里への増資、貸付は、市民の貴重な血税が三度投入される可能性が大で市民の理解が得られない。更に資金の投入があり得ると危惧されることから反対する。

(賛成) 平成 18 年度遠野市一般会計補正予算(第 3 号) 浅沼幸雄議員 馬の里への増資及び貸付金について、この 2 年間で健全な運営に近づくための一定の道筋が見えたと判断したことと、今後 2 年間で更に経営改善に向けた努力をするという点に一定の理解を示し賛成する。



▲ 3 月 18 日待望の仙人峠道路・上郷道路が開通

会派構成等

■議会の会派構成 (○は会長)

- ・新和会 (しんわ) 3 名
 - 新田 勝見 菊池 邦夫 佐々木幸夫
- ・正心会 (せいしん) 3 名
 - 菊池 民彌 浅沼 幸雄 河野 好宣
- ・遠野一新会 (とおのいっしん) 3 名
 - 多田 誠一 織笠 孝之 安部 重幸
- ・清風会 (せいふう) 4 名
 - 菊池 敏行 菊池巳喜男 照井 文雄
 - 荒川 栄悦
- ・会派に属しない議員 9 名
 - 瀧澤 征幸 菊池 充 小松 大成
 - 佐々木 譲 伊藤 庄吉 石橋 達八
 - 萩野 桂一 萩野 茂男 佐々木 熙

■常任委員の選任

繰り上げ当選された菊池充議員は、産業建設常任委員に選任されました。

■岩手県後期高齢者医療広域連合議員の選挙

遠野市議会から立候補した佐々木幸夫議員は、県内全議員による選挙の結果、岩手県後期高齢者医療広域連合議員に当選しました。

市政調査会活動報告

遠野市政調査会(菊池邦夫会長・菊池巳喜男副会長)では 1 月 22 日に例会を開催し、福島大学教授奥山修司アドバイザーから PFI 事業(民間主導による公共事業)による給食センターの整備構想の説明を受けました。この事業導入により建設費や調理設備等の事業コストの削減、地産地消による農業の振興、ビジネス機会や雇用の創出による産業の振興にも役立つとの話がありました。今後ともこの事業に関しては研修を深めていきたいと思ひます。



▲調査会で PFI 事業についての説明を受ける

医療・福祉行政の充実を



菊池 邦夫 議員

【質問】医療確保対策として地域医療の中心的役割を担う県立遠野病院は、医師の充足率が県下県立病院の中で最下位である。安心して地域医療が受けられるようにするには。

〔市長〕県立遠野病院、一般開業医院、直営診療所との連携により、充実に向けた医療環境を構築していく。遠野型助産院ネットワーク構想も年

内運営を目的に取り組みを進めていく。

【質問】総合防災センター整備構想は。

〔市長〕市民の暮らしの安全を守る施設として整備するものだが、確率の高い宮城県沖地震、三陸沿岸津波被害が発生した場合の救援救助が可能な後方支援基地を国、県に働き掛けていく。

【その他質問事項】

- ・少子化対策についての今後の対応は。
- ・遠野市景観計画の策定に伴う施策の取り組みは。
- ・総合給食センター構想について。

総合給食センター構想は



荒川 栄悦 議員

【質問】PFI事業（民間資金の活用）による総合給食センター構想は。

〔市長〕現在検討している総合給食センター建設計画は、本来のPFI事業である民設民営型も考えたが、食育推進法による補助金と合併特例債を活用した方法が一時的な財政負担を伴うものの、交付税措置が見込まれ財政負担が

一番低くなることから、PFI事業のメリットを生かした公設民営型で検討を進めていく。

【質問】環境条例について、条例が効率的、効果的に適用されているか。

〔市長〕条例に関わるトラブルがあったことを重く受け止めている。人と自然との共生を目指し、“もったいない精神”で条例についての認識を深め他課との連携を強化する。

【質問】（仮称）遠野市市民協働条例を制定しては。

〔市民センター所長〕策定した「みんなで築くふるさと遠野指針」の中にある協働の精神で地域づくりに取り組む。

入札制度について



伊藤 庄吉 議員

【質問】京都議定書の唱えている二酸化炭素の削減で主役である森林のCO₂の吸収作用であるが、その森林が悲鳴を上げている。市民が森林の整備に90%の補助金の措置を認識していないのではないか。広報等で周知を図るべきと考えるが。

〔市長〕森林づくり座談会を開き「とおの里山美林推進事業」への参加などで呼び掛けていく。

【質問】談合の防止を目的とした一般競争入札の制度を導入したら市内の経済は、また、地元業者はいかなる立場になるのか。大手ゼネコンと太刀打ちできるのか。

〔市長〕入札の適正化、談合による指名停止の強化等を図りながら、地域経済の活性化、市内業者育成、雇用の確保等を勘案し、透明性・公平性を確保しながら、今後とも指名競争入札を主体に工事発注を行う。

【その他質問事項】

- ・木工団地の事業体の安定経営について。
- ・アストが進める特産品の成果は。

国民格差の拡大は深刻では



小松 大成 議員

【質問】国民格差の拡大は重要な政治課題である。市民生活においてもその影響は深刻化しているが、市長はどのようにとらえるか。

〔市長〕都市と地方、県内でも中央部と沿岸部、また諸々の状況から格差が広がっていると認識している。当市の市民所得は県内でも低位にあり底上げをはかることが

基本的課題である。

【質問】マスコミで誘致企業が正社員を雇用せず不安定雇用により営業している実態が報道された。誘致企業には正規雇用を確約させるなどの対策が必要である。

〔市長〕他県において多額の補助金を出しながら雇用の場につながらなかったケースがあることは承知している。対応を誤らないよう努める。

【その他の質問事項】

- ・国民健康保険税の引き下げは。
- ・資格証明書の発行が異常に多い原因は。
- ・障害者自立支援法施行による当事者の実態は。
- ・耐震診断の加速化と耐震工事への支援を検討すべきでは。

災害時の後方支援体制は



浅沼 幸雄 議員

【質問】沿岸地域大規模災害時の後方支援基地として総合防災センターの設置を進めるとともに、消防団・婦人消防協力隊及び住民ボランティア等による後方支援体制を確立する必要はないか。また、遠野消防署と同じく老朽化が進んでいる宮守出張所は今後どうなるのか。

〔市長〕2月18日開催の防災フォーラムIN遠野を通じて、後方支援基地としての認識を共通のものとした。今後は国・県への提案型プロジェクトとして取り組む。また、今後に向けて消防団の他市町村への活動支援を考慮した資器材や装備の充実と併せ訓練等を通じて、後方活動支援体制の確立も図る必要がある。宮守出張所の庁舎も老朽化が進んでおり、宮守総合支所周辺の整備と併せて検討していかなければならないと考えている。

【その他の質問事項】

- ・小中学校の少人数学級について。

市長の政治姿勢について



佐々木 譲 議員

【質問】医師確保の進め方についての新聞報道が議会提案前であったことから、予算審議について議会との整合性を欠いたのではないか。

〔市長〕市民医療整備室を立ち上げ、医療関係者と真剣に議論を重ね、遠野として望ましいあり方を示した。手順の問題で配慮が足りなかったことは、先の議員全員協議会で申し上げた。

【質問】大出小中学校跡地利用について新聞報道で初めて知ったことは現在学習が行われている時期に、児童・生徒や保護者・地域民にとって心情的にいかがなものか。

〔市長〕学校の閉校が決まっている中で住民の熱い思いがあることは承知している。4月以降も現在の校舎が活用されるのだという安心感を持っていただくためにも、利活用策について検討を進めている。

【その他の質問事項】

- ・中学校再編と地域懇談会の総括は。
- ・各種学力検査について。
- ・養護学校について。
- ・給食センターの整備計画内容は。

妊産婦無料健診の拡充を



石橋 達八 議員

【質問】スポーツ全国大会を誘致、開催することでスポーツ拠点づくりを推進できないか。

〔市長〕競技施設や宿泊等、受け入れ態勢の問題などあるが、新たな視点に立ち、検討する。

【質問】中心市街地以外の商店の活性化がコンパクトシティの面からも求められる。振興策があるか。

〔市長〕4月1日に商工会の合併もあるので新遠野商工会を通じて各商店街の主体的な取り組みを支援する。

【質問】子育てを支援する施策が求められている。その一つ、妊産婦の無料健診が現在2～3回になっている。妊娠期間中、約13～14回程度受診するため、市外の医療機関に通う妊婦にとって大きな負担と思われる。拡充を求める。

〔市長〕妊婦の無料健診を増やすことで検討している。

【質問】安心して子育てができる居住支援策を示せ。

〔市長〕子育てのしやすい住環境はどうあればよいか、県公舎の空き家の活用等、子育てや高齢者への提供の方策も検討する。

協働による地域づくりは



菊池 充 議員

【質問】宮守町における地区センターの再編について、遠野市総合計画では地区センター機能の強化をうたっているが、市民協働による地域づくりを推進するため、今後、宮守町の達首部地区や鱒沢地区にも地区センターを設置する再編の考えはないか。

〔市長〕合併協議の中で宮守は一つとする意向を尊重し

宮守町には宮守地区センターを設置することで取り組みを進めた。宮守町には総合支所と宮守地域まちづくり会議の仕組み、更には活発なPTA活動がある。宮守町のネットワークを市民協働にどのように持っていくか支所を通じて現状と課題を把握し現場での検証をしながら検討していく。

〔総合支所長〕宮守町に地区センターは1箇所であることは合併協議で確認されたが、宮守地区以外では懇談会や地域づくり連絡会議、宮守の市民の声としても設置要望が出されている。合併協議の内容を尊重しながら連絡会議の中でも検討し、今後議論していく必要があると考える。

予算等審査特別委員会 2月28日~3月7日

予算等審査特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長佐々木讓議員、副委員長照井文雄議員）は、条例20件、予算18件、その他10件の48議案について付託を受けて6日間の審議を行いました。

今定例会では18年度の補正予算と19年度一般会計予算等が示され、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全48議案が原案のとおり可決されました。



▲委員会では6日間にわたり活発な審査が行われた。

期待される全国初の助産院構想

二日町小友線の工事状況は

【質問】 工事の進行状況は。
【答弁】 小友鷹鳥屋側から頂上を経て二郷神社までの工事が進行中であり19年度はこの区間1,060mの舗装工事について秋期までに完成を目指したい。綾織側は、19年度に開発行為許可等の申請を行い、平成20年から22年度で工事完成としたい。

【質問】 工事延長は補助金が余ったので実施したのか。

【答弁】 交付金はパッケージという形の地区指定で、18年度は他2路線が完了し、二日町小友線を最終調整し早期完成を進める。

【質問】 このパッケージで与えられた予算を活用し懸案道路の同線を早期整備する事が緊要ではないか。

【答弁】 19年度で舗装工事を実施、次に峠より綾織側を22年度の完成を目指したいので、地域の方々の支援をお願いしたい。

長寿の森の改修工事内容は

【質問】 長寿の森(養護老人ホーム)の改修工事3,300万円の内容は何か。民間に委譲したとき、現状のまま譲渡して行政は手をかけず、民間で継続させて行く約束であったのではないか。なぜ今更資金を投入するのか確認をしたい。また、土地の評価額もきちんと示してほしい。

【答弁】 これは、介護保険法が一部改正になったことでユニバーサルデザイン化により浴室・トイレの改修、廊下の段差解消、手すりの取付工事である。現在の建物を改修して譲渡すると、今までの補助金を返還しなければならないので、現状のまま無償譲渡した。今回、国の補助金を100%活用して改修出来るようになったので利用した。土地の評価額については今後精査をして示したい。

馬の里運営事業費の増は

【質問】 2年前馬の里に5,000万円の増資・補助を実施し、今後支援を受けないで経営改革をして民間移譲をしながら行政は手を引くことだったが、今年も6,200万円が補正予算計上された。累積赤字と未払金の支払い計画はどうなっているのか内訳を示してほしい。また、再度資金が投入されることはないのか。

【答弁】 計画では預託馬100頭で推移すると見込んでいたが、馬主会からも料金の引き下げが余儀なくされた。今後馬の里を継続していくために職員の縮減をするなど努力してきたが、18年度も赤字であったことから計画の見直しを含め事業運営のため、再度資金の支出をお願いする。また、未払金は1億1,000万円で、累積赤字は3億2,000万円であり、再度資金を投入しないと

文化財と遺産の区分はどうなっているのか

【質問】 遠野遺産認定条例制定にあたって、文化財と遺産の違いや区分をどう解釈すればいいのか。

【答弁】 文化財については、文化財保護条例に基づき指定されるものであり、歴史と価値が加味されて指定されるものである。遠野遺産については、その条件や条項は定めていないが、市民が慣れ親しんでいる地域のお宝という考え方で認定されるものである。

【質問】 認定を受けるにあたって、この条例では行政側から指定するという事はないということか。

【答弁】 そのとおりであり、遠野遺産についてはあくまで地域や市民からの申請に基づき、認定審査委員会において調査し、選定され、それに基づき認定されるものである。実際には、各地区センターに相談していただきたい。

各施設整備の
取り組みは

【質問】 総合防災センター整備・総合給食センター整備・斎場整備、それぞれ19年度は具体的に何をするのか。
【答弁】 総合防災センター構想は、国家的プロジェクトとしての意味合いもあり、国・県へ提案しその結果を受けて市の防災センター構想をまとめた。総合給食センターは、18年度のPFI可能性調査の結果を受けて19年度はアドバイザー事業によりPFI事業の実施方針を組み立てたい。斎場は迷惑施設としてのイメージが強いが、遠野市として誇れるような施設にしたいと考えている。19年度は市民懇談会を立ち上げ、施設のイメージやペットの火葬等も含めて検討していただきたいと考えている。

市民医療環境整備
事業について

【質問】 おでんセドクター推進補助の中の2,000万円について、これまでの説明では市内の医師の開業についても補助を出すということであったが変わりはないか。
【答弁】 市内に新規開業する医師のみを対象とする。
【質問】 補助金を出す場合、産婦人科医と小児科医に限定すべきではないか。
【答弁】 記者発表以来様々ご意見を頂戴する中、産婦人科医と小児科医には厚くということで考えている。ただ、それに限定するものではなく、そのほかに利子補給制度、預託制度も合わせて考えている。記者発表の内容については、何としても医師確保をしたいという思いを発信したとご理解をいただきたい。

助産院ネットワーク構想の内容は

【質問】 遠野型助産院ネットワーク構想の内容は。
【答弁】 この構想は、妊産婦の不安解消、負担軽減を目的に、妊産婦の定期健診、育児相談、産後の母子ケア等をカバーする公設公営の助産院施設を設置し、安心安全な出産環境づくり「安産の里」を目指す構想である。県立釜石病院とモバイル健診を活用し、また緊急搬送体制も考えているが、出産は産科医のいる病院と

なる。さらに子育て支援機能となる経産婦の第一子、第二子等の保育、施設内勤務者や夜勤者の幼児あずかり保育も考えている。
【質問】 この構想は19年度どこまで進むのか。
【答弁】 当初予算では、施設的设计委託と助産師の手当が主なものである。医療機関との交渉、理解が得られれば既存の遊休施設を改造することにより年度内に運営できるよう考える。



▲ 18年度で閉校になった大出小中学校

米の生産調整への
対応は

【質問】 45%の減反という厳しい水田農業の状況下において、今度は品目横断的安定対策により市では組織育成を推進していかなければならないと思うが現在の進捗状況は。
【答弁】 3月1日現在、15集落が組織されている。人数で771人、面積で590haとなっており、さらに6月までには7集落が予定、20年度にも7集落の見込みがあり14集落がプラスになる。
【質問】 米の消費量減少に伴い将来50%の転作も視野に入れた施策が必要と思われる。米に代わる収益の高い作物として小麦、大豆が挙げられるが充分に取り組みの施策は。
【答弁】 確かに転作が50%を超える可能性がある。国では、小麦、大豆に手厚く保護してくれる。技術的なことは普及センターと相談する。

大出小中学校
跡地活用は

【質問】 大出小中学校跡地利用として500万円程度の予算が計上されているが。
【答弁】 校舎の屋根の補修、駐車場整備などである。
【質問】 跡地利用について市では、アイデアを公募するなど検討しているが、なんともいっても地元住民と協力が大切と思う。新聞掲載まで地元の人々が知らなかったという声があるが事前協議はなかったのか。
【答弁】 学校再編を進めてきた過程の中で、地元には跡地利用の考え方も基本的にあったと思っている。
【質問】 学校敷地に神社の所有地も含まれていると聞いているが、今までは無償で長年に渡って使ってきたと思う。これからはどのような形での利用になるのか。
【答弁】 今までの調査も含め神社側と十分協議する。

請願審査報告

今定例会には1件の請願が提出されました。

総務常任委員会における審査及び本会議における議決結果は以下のとおりでした。

■放射能廃液を海に放出しない法律、放射能海洋放出規制法(仮称)の制定を求める請願

[請願者 豊かな三陸の海を守る会 会長 田村剛一]

審議結果 採択

(採択とした理由) 請願者の願意を尊重の上、請願の趣旨を了として全会一致をもって採択とした。

議員発議案

今定例会には4件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。

可決した条例・規則・意見書は以下のとおり。

■遠野市議会委員会条例の一部を改正する条例

■遠野市議会会議規則の一部を改正する規則

■放射能海洋放出規制法(仮称)の制定を求める意見書

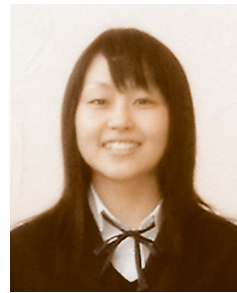
(要旨) 放射能海洋放出規制法を制定し、放射能廃液を海洋に放出させないことを求める。

■森林・林業・木材関連産業施策の充実を求める意見書

(要旨) 多様で健全な森林・林業・木材関連産業施策の展開に必要な予算措置を求める。

意見書の送付

今定例会で可決した意見書2件は、平成19年3月8日付け、遠野市議会議長名で内閣総理大臣、財務・文部科学・厚生労働・農林水産・経済産業・環境の各大臣あてに送付しました。



わたしの ひとこと

観光を目指す 街として

菊地真帆さん(宮守町)

『永遠のふるさと』『民話のふるさと』として、どんどん観光地化していくこの遠野市の素晴らしさや豊かさに、私は昨春高校に入学して感じ始めました。観光する人や観光スポットの多さに驚かされることもありました。

しかし、観光される街として考えていかなければならないのではないと思うことが1つあります。それは「カラス」についてです。カラスの鳴き声や道路に散乱した糞、沢山集まった光景などあまり目にしたくない実態があります。市民にとって不快の感じることは観光する人にとっても同じではないでしょうか。

「綺麗で素晴らしい遠野」と思われるように、カラスの駆除など考えていくべきだと思います。また、私たちも遠野の街を汚さないように心掛けていきたいです。

6月定例会の予定

◆定例会は6月8日(金)開会の予定です。

詳しくは議会事務局まで。

○議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。

議会事務局62-2111(内線271)

gikai@city.tono.iwate.jp

Information

編集後記

3月定例会・2週間の攻防で18年度補正予算と19年度予算が審議可決、市の定期人事異動も実施され新年度がスタートした。桜の季節が日本列島に到来し遠野郷にも桜のたよりが近い。この3・4月は卒業と入学の季節でもあり、新職場・新学校と新たな門をくぐり希望を胸に一步を踏み出した市民も多いと思う。去る3月25日には、58年の歴史を持つ大出小中学校が地域から姿を消し、新たな学校でスタートをきった。今年度は、市内中学校再編計画が大詰めとなる。地域と共に歩んできた文化をどのように継承していくか、待ったなしの対応が迫ってくる。地域の伝統文化があって、町の賑わいがあると感じる今日この頃である。能登半島に、震度6強の地震そして津波が襲った。我が遠野市も他人ごとではない。この安心・安全な町づくりを目指す早期の防災拠点づくりに期待したい。(巳喜男)